

熱処理



●機械刃物製造販売、金属熱処理加工、各種工具、機械部品の設計・製作

第一鋼業株式会社

▶TEL: 06-6661-1721 FAX: 06-6661-1775

▶URL: <http://www.daiichis.com/>

ここが
スゴイ!

長いものは5mを超える高寿命刃物 独自の材料で2500トンの力で鉄の塊を切る刃物にも対応

機械刃物メーカーや製鉄所向けに、鉄鋼、銅などを切る大きくて強い刃物を製造。基本的に裏表の4コーナー使用でき、1つの刃先で数万回切り、さらに再研磨して寿命は延びる。IT製品のリサイクルや製鉄所のスクラップ処理用などの使い捨て刃物も製造しており、大きな力加わするため、機械的性質が十分得られるように、独自に材料や熱処理を研究している。



金属せん断するための刃物。最長650cmまで製造できる



850℃のソルトバスに、品物をカゴに入れて加熱処理を行う。



事業概要と躍進の契機

地域の産業として発展し、刃物、熱処理メーカーに成長

昭和10年、刃物の生産が盛んな堺に隣接する現在の場所に設立。以後、大阪本社を拡張し、第一熱処理工業株式会社を設立し、鉄鋼の剪断刃物や熱処理加工を手掛けるようになった。昭和45年に第一鋼業刃物株式会社と第一熱処理工業株式会社が合併し、第一鋼業株式会社となる。

会社の強み・主力商品など

独自の刃物加工形態 — ものづくり日本大賞にも選ばれた一貫加工

顧客と図面から打ち合わせして、仕上がりまで担当。材料開発、機械・研磨加工、熱処理の製造工程を一貫して行うことができる。熱処理の段階で、品物は変形、変寸するが、最終の成形に至るまでの製造過程を理解しているため、加工の仕上り代を少なくできるなど、一貫加工によって、トータル的に納期の短縮やコストダウンできるというメリットがある。

今後の事業展開

表面改質へ進出し、ソルトバスでオーダーメイドの熱処理を実現

熱処理加工を充実させるため、さらに表面処理の浸流窒化処理にも進出し、顧客のニーズに沿った加工を目指す。これからもっとPRしていきたいのがソルトバスによる熱処理の受託加工。加熱、冷却するスピードが早く、均一に加熱されるというメリットや、部分的に硬さを変えることが可能なため、試験品や試作品、特殊な工具などに活用したい。HPを見たというカスタムナイフが趣味の個人や、研究者、技術者からの熱処理の依頼が、少しずつ増えている。

●企業プロフィール

〒557-0063 大阪府大阪市西成区南津守6丁目3-22
代表取締役 妻藤 誠
設立: 昭和25年(1950年)
従業員数: 72名
資本金: 3,060万円

企業メッセージ

鋼に関する知識・技能集団(プロ集団)になることを心がけております。鋼に対してお客様の困っていることに総合的にアドバイスできる「加工に伴ったノウハウ会社」を目指しています。

代表取締役 妻藤 誠



■用語解説

ソルトバス: 溶解した塩の中に鋼などの金属を入れて加熱する焼入れ用炉の一種。